

令和4年度 市民大学前期講座プログラム（案）

《新潟学コース》「佐渡島の金山～世界に誇る文化遺産の価値を学ぶ～」

1 趣旨

「佐渡島(さど)の金山」の名称で、現在世界文化遺産登録を目指している佐渡金銀山遺跡。この秋開催の文化審議会国内推薦が決定すると、2023年夏の世界遺産登録が実現される可能性があります。国内最大の金銀山として幕府や明治政府を支え、日本の発展に貢献した佐渡金銀山。その優れた鉱山技術や鉱山経営の手法、花開いた鉱山文化など佐渡金銀山の世界文化遺産としての価値について学びます。

2 学習方法 前期：講義 講義：ゼミナール・実習

3 曜日・時間 土曜日 午前・**午後** 1 時 ～ 午前・**午後** 3 時

4 講座コーディネーター 新潟県立佐渡中等教育学校 教諭 余湖 明彦

5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/18	佐渡島の金山～魅力と価値～	誰もが知っている「佐渡金山」。しかし、その本当の価値は意外に知られていません。初回では、佐渡の金銀山の魅力と価値について概観します。	佐渡中等教育学校 教諭 余湖 明彦
2	6/25	遺跡が語る佐渡金銀山の歴史	様々な時代や種類の遺跡が残されている佐渡金銀山。これまでの調査成果を中心に佐渡金銀山の歴史を紹介します。	佐渡市世界遺産推進課 調査係 係長 宇佐美 亮
3	7/9	佐渡金銀山の勃興と戦国大名・統一政権	古代・中世より金銀の島として知られた佐渡。上杉・豊臣・徳川権力の佐渡金銀山掌握の野望と、当該期の越後・佐渡支配の意味を考えます。	新潟市文書館 主幹・学芸員 長谷川 伸
4	7/16	佐渡奉行の鉱山経営	幕府財政を支える鉱山として、佐渡には奉行所が置かれ、有能な官僚が赴任しました。金銀山の発展に貢献した奉行達の鉱山経営手法について紹介します。	佐渡中等教育学校 教諭 余湖 明彦
5	7/23	皇室財産から三菱への払下げ	佐渡鉱山は、明治22年(1889)に宮内省御料局に移管され、それから明治29年(1896)に三菱に払い下げられるまで皇室の財産でした。この時期の鉱山経営を検証します。	東京都立大学経済経営学部 准教授 小林 延人
6	7/30	世界に誇る佐渡金銀山絵巻	佐渡金銀山絵巻は国内外に100点以上の所在が確認されています。絵巻の制作目的や描かれた鉱山技術、絵巻が与えた文化的影響などを紹介します。	新潟県立歴史博物館 専門研究員 渡部 浩二
7	8/20 公開	世界文化遺産としての佐渡金銀山の価値	ユネスコの世界文化遺産への登録を目指す「佐渡島の金山」。登録のためにどのような条件が必要とされるかについて考えます。	筑波大学名誉教授・放送大学客員教授 工学博士 稲葉 信子
8	8/27	国内外の鉱山遺跡との比較に見る佐渡島の金山	佐渡島(さど)の金山の世界的価値や特徴を国内外の鉱山遺跡との比較研究の成果からひもといていきます。	新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 専門調査員 尾崎 高宏
9	9/3	花開く鉱山文化—鉱山文化の周辺—	金銀山の隆盛は人や文化の交流も盛んにしました。そのことを漁業技術、能舞台などから考えます。	佐渡博物館 館長 池田 哲夫
10	9/10	歴史の中の佐渡金銀山	金銀が産出したことで、佐渡島の運命は大きく変わりました。金銀山が歴史に与えた影響について、様々な角度から考えます。	佐渡中等教育学校 教諭 余湖 明彦